

破傷風

「破傷風」と聞いて、連想できることは何でしょうか。「予防接種のある病気」、「めったにかからない病気」、この二つは、どちらも正解です。でも、もう一つ「とても怖い病気」という答えを加えてください。それは、破傷風には特効薬がなく、死亡率の高い病気だからです。

破傷風菌は、土壌に広く生息する破傷風菌による感染症です。動物の腸の中や糞にも存在します。感染すると、約 80%の患者さんに全身的な症状（けいれん、呼吸困難、脳炎など）がみられ、非常に危険な状態になります。

「釘を踏んだら気をつけなくてははいけない。」

「イヌに咬まれたら、破傷風に注意しなくてははいけない。」

などの言葉を耳にしたこともあるかもしれません。これらについても、正しい答えと言えるでしょう。破傷風菌はどのような傷であっても、感染する危険があります。植木いじりでできた小さな傷でも、感染することがあります。また、清潔であるはずの手術室で負った傷が原因で発症したと思われる報告例もあります。つまり、小さな傷からも菌は侵入しますし、原因不明で感染することもあるのです。ガーデニング、ペット、台所仕事、その他身近なできごとでけがをする機会は多いと思われます。

毎年国内でも 100 名程度の報告例のある破傷風。皆さんは、いつ破傷風の予防接種を受けましたか。予防接種で破傷風対策をしておくように、お勧めします。破傷風の予防接種は基礎免疫として、計 3 回行います。‘初回接種後 3～8 週に 1 回、それから 6～18 か月内に 1 回の接種’です。この計 3 回の接種により、10 年間の予防効果があるとされています。基礎免疫終了後は、10 年ごとに追加接種（1 回）を受けるとよいでしょう。これでまた 10 年、破傷風の恐怖から遠ざかります。破傷風は「かかってから」ではなく、「かかる前に」が、とりわけ大切な疾患です。予防接種の予定に、「破傷風」もぜひ加えてください。



多摩東部地域産業保健センター

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ 404

TEL 0422-24-6906 FAX 0422-24-6908

メールアドレス sanpo@kind.ocn.ne.jp

HP <http://www.sanpo-tama.jp/>